

# 広報 しばた

9 since 1961  
2014  
SEP  
No.635

## 共に活動し、絆を強めた26人のシニアリーダーたち

『第18回 姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会』(8月6日(水)~8日(金))

姉妹・友好都市の北海道伊達市、福島県新地町、亶理町、山元町と柴田町の5市町の少年団体シニアリーダー（高校・中学）が町内に集まり、野外活動やレクリエーション活動を行いながら、交流を深めました。参加した槻木地区の高橋まりさんは、「野外での作業に戸惑ったり、突然の雷雨があったりと大変でしたが、みんなで協力して乗り越えられました」と充実した様子で感想を述べました。

(写真: 上川名地区に住む加藤さんからの指導を受け、竹の伐採から手がけて、苦勞して作った流しそうめんを食べるシニアリーダーのみなさん)



みなさんのアイデアを生かし、協働でまちづくりを進めます

# まちづくり提案制度

～これまでの実績と現在の取り組み～

問まちづくり政策課 TEL 54-2111

写真:第1回しばた匠まつり(平成25年10月5日、6日 太陽の村にて)

## 協働のまちづくりを推進する

### 「まちづくり提案制度」

まちづくり提案制度は、みなさんからのアイデアや実践活動をまちづくりに生かしていく制度です。この制度は町民のみなさんのまちづくりへの参加を促進し、まちづくりを活発にするため「柴田町住民自治によるまちづくり基本条例」で定められています。この制度を実施するにあたっては、まちづくり推進センターが提案に関わる相談や助言などを行います。提案が採択されると補助金の交付など、町からの支援を受けることができます。

まちづくり提案制度が定められた平成23年度から現在まで7件の提案が採択されました。

### 地域史編纂「写真で見る上川名の移り変わり」の発刊

上川名地区活性化推進組合の実践提案

上川名地区は、貝塚、館跡の遺跡があり、孫授けの風習やお念仏講など農村集落の風情を色濃く残す地区。歴史や風習などを後世に画像で分かりやすく伝えていくことを目的に地域住民が一緒に取り組み、写真集を300部発刊しています。

### ナイスSmile(笑顔)賞

大槻重一さんの意見提案

私たちの周りには地域のために活動している人がたくさんいる。こういった方々の取り組みを多くの人に知ってほしい。との提案を受け、町では情報紙「ゆる・ぷら倶楽部」に、さまざま分野で活動されている方を紹介しています。

### しばた匠まつり

しばた匠まつり実行委員会の実践提案

全国各地のものづくり職

人が集い、技の披露、作品の展示販売と同時に地場産の加工品などの紹介を兼ねた柴田町の新たな秋祭り。交流人口の増加とともに産業振興面での効果が期待され、今年も10月4日(土)、5日(日)、太陽の村で開催されます。

### 柴田町チャリティーカラオケ東西対抗歌祭

柴田町東西対抗歌祭実行委員会の実践提案

白石川を挟んだ東西チームのカラオケ対抗戦。イベントを通して、人と人が結びつき、地域に一体感を生み出します。今年も11月30日(日)、榎木生涯学習センターで開催されます。

### しばた100選の選定

豊川光雄さんの意見提案

「伝えたい、残したい」をテーマに、町の資源(自然、風景、歴史、特産品、体験型イベントなど)を公募し、「しばた100選」としてまとめ、刊行し、町の宝物として残し伝えていきます。

柴田町住民自治によるまちづくり基本条例に基づき、提案内容などを公表します

年度	提案種別	提案名・内容	審査結果	年度	提案種別	提案名・内容	審査結果
H23	意見	ふれあいケア・プロジェクト元気会 ○高齢社会における諸問題に対する取り組みを地域の協働で解決にあたる。	不採択	H24	意見	目で見る町の情報 ○聴覚障害者へ町がタブレット端末を貸与し、各種情報を配信する。	既存制度の活用
		アートによるまちづくり（アートセンターしばた） ○アートセンターしばたを構想、文化芸術活動の活性化と図る。	不採択			ナイス Smile（笑顔）賞	採択
		桜まつりにおける「白石川河川敷の有効活用」 ○白石川河川敷に各町内会などが出店。売上金は町内会の費用に充てる。	不採択		実践	地域史編纂「写真で見る上川名の移り変わり」の発刊	採択 (補助金25万円)
		「さくら茶屋」の開催 ○白石川の土手沿いに300～500m間隔で茶屋を作り、地元の桜に関する商品を販売する。	不採択			しばた匠まつり	採択 (補助金19万5千円)
		原田梅まつり ○館山の梅林の梅の実を活用した祭りを開催する。	不採択		意見	花と水のさくらの町 ○JR船岡駅と土手内周辺の河川敷を開発し、観光客の増加を図る。	再提案
		城主の鍋料理 ○町にいた領主などの名前をつけた鍋料理（原田鍋、もみの木鍋など）の対決イベント。	不採択			しばた100選の選定	採択
		全国規模の「石の彫刻祭」 ○石の彫刻を全国から出展してもらうイベント。	不採択		実践	柴田町チャリティークラウゼン東西対抗歌祭	採択 (補助金20万8千9百円)
		しばたさくら市場 ○船岡城址公園内や付近に、誰もが参加できるフリーマーケットや飲食屋台を出展できる場所を設ける。	不採択			スタートアップ 0歳児とママの居場所づくり	採択 (補助金3万円)
		みやぎ物産販売店 ○空き店舗を、県内市町村のお土産物産販売店として活用する。	再提案		H26	スタートアップ 柴田町図書館蔵書や広報紙等の点訳ボランティア	採択 (補助金3万円)
		パークゴルフ場の開設 ○白石川河川敷にパークゴルフ場をつくる。	不採択			※各提案は、提案者により課題や目標なども細かに明示されていますが、全文を記載することができませんでした。各提案の内容や審査結果などの詳細については、柴田町まちづくり推進センターで閲覧できるほか、ホームページでも公表しています。	
実践	柴田町の資源を（見て触れて感じて）（知って見て感じて） ○町内企業めぐり、企業の製品展示とものづくり体験会の実施。	再提案					

## しばた100選募集



山津見神社(榎木)を訪れるスタッフたち

伝えたい  
残したい  
自慢したい  
しばたの宝もの

● 募集期間：平成26年11月1日～平成27年1月15日  
11月に募集用紙を全戸に配布します。郵送・Eメール・町ホームページからの応募も可能です。

● 募集内容：ジャンルは問いません。わがまち・わが地区自慢の内容であれば、なんでも応募できます。候補の説明文や写真、あなたと候補とのエピソードなども同時募集します。

● 応募資格：…どなたでも、何通でも応募できます。

まちづくり推進センター  
TEL 86-13631  
<http://www.town.shibata.miyagi.jp/m-cen/>

### 0歳児とママの居場所づくり

まだ歩くことができない乳児のための安全な場所と、0歳児の母親同士が相談し合える場所を提供する「まめっこサークル」。ベビーマッサージ教室など0歳児を対象とした新しい事業が展開されています。

### 柴田町図書館蔵書や広報紙等の点訳ボランティア

柴田町点訳サークル「ぼたろ」のスタートアップ提案  
広報紙などの点訳ボランティア、公共施設への点字シールの提供、点訳スキルアップのための勉強会開催などにより、視覚が不自由な方の社会参加を支援します。

### まちづくり提案制度

**提案の種類**

- ①意見提案  
みなさんからのアイデアを町が実現する制度。
- ②実践提案  
提案者、町、住民のみなさんとの協働でまちづくりを実践する制度。町は予算の範囲内で、対象経費の1/2以内を補助し、実践協力します。
- ③スタートアップ提案  
新たにまちづくりに関する活動を始める、または活動を始めて間もない団体を支援する制度。町は3万円を上限に対象経費を補助します。

**提案者の要件**

住民、町内への通勤・通学者、町内で活動する団体、企業など。ただし、スタートアップ提案については、設立1年未満の団体。

**提案の審査**

提案者は、まちづくり提案審査会で提案内容をプレゼンテーションし、審査会からの質疑を受けます。提案内容は、公益性、必要性、実現可能性などについて審査し、採択を決定します。

13,500人が熱い夏を楽しんだ

## 『ザ・フェスティバル in しばた2014』

7月26日(土)、真夏の熱い日差しの中、陸上自衛隊船岡駐屯地内で「ザ・フェスティバル in しばた2014」が開催され、町内外から浴衣姿の子どもたちや親子連れなど多くの方が訪れました。

特設ステージでは、子どもたちの元気いっぱいのチアダンスや合唱、熱気あふれ躍動するよさこい演舞、自衛隊音楽隊の演奏に共演したフラッグ隊の演技など数多く催され、会場を盛り上げました。

夜に近づくにつれ、会場の人出も多くなり、出店が並ぶ通路には多くの行列ができていました。そして、フェスティバルのフィナーレ、打ち上げ花火約 3000 発は、柴田の夜を鮮やかに染め、わたし達を大いに楽しませてくれました。





- ①仙南総合プールチアダンス
- ②柴田町、大河原町、村田町の小学生による合唱
- ③よさこい演舞
- ④祭友会みこし渡
- ⑤自衛隊さくら太鼓
- ⑥樫ノ木音頭
- ⑦カブト虫プレゼント(柴田ロータリークラブ)
- ⑧自衛隊音楽隊演奏、フラッグ隊
- ⑨自衛隊スコップ三味線





# (仮称)さくら連絡橋の名称を募集します!!

船岡城址公園展望デッキ下から白石川堤右岸側に架橋する(仮称)さくら連絡橋は、平成27年3月に本橋部が完成する予定です。桜と共に町の名所となることから、みなさんから長く愛され親しまれるよう、橋の名称を広く募集します。

- ✿応募期限／11月20日(木)必着
- ✿応募資格／柴田町民、柴田町出身者、柴田町にゆかりのある方  
応募について
  - 応募できる数は、一人1点です。
  - 名称の募集です。文字の大きさ、書体、色は関係ありません。
  - 応募できる名称は、未発表のもので、他の橋など同一でないものに限りです。
- ✿応募方法／官製はがきまたはEメールに、氏名(ふりがな)、住所、電話番号、性別、年齢、橋の名称(ふりがな)、名称の由来を記入し応募してください。
- ✿応募先／都市建設課 ☎989-1692 柴田町船岡中央二丁目3-45  
Eメール：construction@town.shibata.miyagi.jp
- ✿賞／最優秀賞1点 ※入賞者には記念品を贈呈
- ✿結果発表／平成26年12月下旬
- ✿その他／
  - 応募された方全員を、橋の開通式にご招待します。
  - 最優秀賞となった名称の著作権その他一切の権利は、柴田町に帰属します。



船岡城址公園展望デッキからのイメージ図



橋は、歩行者専用です。  
橋の長さ…約85m  
橋の高さ…約10m  
橋の幅…約3m

白石川堤からのイメージ図

問 都市建設課 TEL0224-55-2121

シリーズ

問 町民環境課 TEL 55-2113  
FAX 55-4172

## しばたecoライフ情報

③

～環境にやさしいまちを目指して～

### ●ビンの総排出量

年度	H16	H25
町全体	480t	370t
1人あたり	12kg	9kg

**お願い!**

### ゴミ集積所に出す前に

- ビンのキャップをはずしましょう。
- ビンの中を軽くすすぎましょう。



第3回目のテーマは、「ビン」です。あきビンは、ほぼ100%が次のようにリサイクルされています。



無色と茶色の空きビン

新しく作るビンの原料となります。



その他の色の空きビン

新しく作るビンの原料の他に、道路の舗装材料や断熱材の材料となります。



また、生産技術の向上により、リサイクルの原料を用いて、薄くて軽い丈夫なビンが製造されています。

### 【環境指導員】

たもがみ あつし  
田母神 彪 さん  
(槻木地区)



「ゴミ集積所に出されるビンの量は、昔に比べるとだいぶ少なくなりました。しかし、燃やせるゴミや缶の収集日にビンが1、2本混入していることがあります。ビンもリサイクルされますので、きちんと分別しましょう。」



## 食の安全安心を考えてみましょう

食品には「生産地」や「栄養成分」、「原材料」、「内容量」、「賞味期限」、「保存方法」などさまざまな情報が表示されているものがあります。

自分や家族の「食」の安全性や栄養成分など正しい知識を持ち、選択できることが「食の安全安心」につながります。

## こんなことから「食の安全安心」に取り組んでみましょう

★食品表示・ラベルを見てみましょう。

Q 「消費期限」と「賞味期限」の違いを知っていますか？

A 「消費期限」…弁当や洋生菓子など、品質の劣化が早い食品に記載され、安全に食べられる期限。

「賞味期限」…缶詰やスナック菓子など、表示されている保存方法に従えば、比較的長くおいしく食べられる食品に記載されている期限。

※どちらも開封前の期限をさします。



Q 表示が義務付けられているアレルギー食品（7品目）を知っていますか？

A 卵・牛乳・小麦・えび・かに・そば・落花生です。

「食物アレルギーかも…」と思ったら、医療機関で受診し、原因となる食品を正確に把握することが大切です。食品を購入する際は表示をしっかりと確認しましょう。

## 食育の取り組みを紹介します

食生活改善推進員は、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、自分自身の食に関する知識を高め、地域で食育の支援活動をしています。

船迫生涯学習センターで行われた「みそ作り教室」では、食生活改善推進員の方々が、柴田産の大豆を使った味噌作りを指導しました。今後も食の大切さを地域に発信できるよう、活動をすすめていきます。



生産者がわかる、地元の食材を再発見

広 告

広 告

# まちかど NEWS



祝詞を受け取る滝口町長



「交通事故に気をつけてください」と声をかける交通安全関係団体のみなさん

## 交通事故をなくそう

NEWS

町は、交通死亡事故ゼロを6ヶ月間達成し、8月6日(水)、県警より祝詞が贈られました。大河原警察署の佐藤則夫署長は「これからも町と協力し、事故抑止に取り組みたい」と力強く話されました。

同日、柴田地区交通安全協会や交通指導隊など33人が、イオンタウン柴田で夏の交通事故防止運動を実施し、買い物客のみなさんへ交通事故防止を呼びかけました。

気温が高い日は、体力の消耗が激しく、注意力が散漫となりがちです。早めの休憩を心がけ、運転しましょう。

## 蹴って・走って・投げて フットベースボール大会

NEWS

船迫地区で7月27日(日)、「第34回地区対抗フットベースボール大会」が開催され、8地区の子ども会から9チーム約250人が船迫小学校に集まり、熱戦を繰り広げました。児童数が少なく、低学年の児童が出演しているチームもありましたが、助け合いながら、一生懸命プレーしていました。5試合を勝ち抜き、優勝した西船迫4丁目地区6年生の柿沼駿輔さんは「暑くて大変でしたが、みんなで協力し、練習よりうまくプレーができ、楽しかったです」と喜んでいました。



暑さに負けず、精一杯プレーしました

広 告



右から坂本さん、鶴田さん、針田さん

## 10ポイント獲得第1号 ～健康づくりポイント事業～

NEWS

今年4月から始まっている健康づくりポイント事業は、現在参加者が2,000人を超えています。7月22日(火)役場で、健康ポイントを10ポイント貯めた鶴田ユウさん、針田瑛子さん、坂本さん3人に、商品券が贈呈されました。針田さんは「日中は、一人で居ることが多いので、寝たきりにならないように、寝る前のストレッチと朝の体操を欠かさず、健康な身体づくりを心掛けています」と話されました。

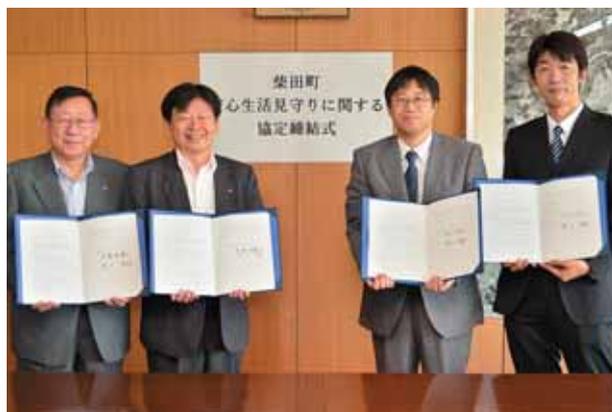
## 手作りのみこしを担ぎ 練り歩きました

NEWS

8月2日(土)、西住地区で30区夏まつりが行われ、子どもみこしが披露されました。子どもや保護者など約200人が法被姿で行列を作り、太鼓のリズムに合わせて「わっしょい、わっしょい」と活気あふれる声を出しながら、西住地区を歩きました。今年で6回目のみこし担ぎ手となる6年生の阿部光佑さんは、「最上級生という立場もあり、みんなで協力し合って、気合を入れてがんばりました」と充実した様子でした。



笑顔で元気な子どもたちの掛け声が夏空に響きました



協定書を交わした河北新報船岡販売所、槻木販売所、大河原販売所の所長3人と滝口町長

## 見守りながら配達を -河北新報社が協力-

NEWS

8月8日(金)、住民の生活を見守り、孤独死などの防止や早期発見の協力体制をつくるため、河北新報社と町は、「安心生活見守りに関する協定」を締結しました。新聞配達員の方々は、配達や集金時に、新聞や郵便物がポストにたまっているなど、生活の異変に気づいた場合、警察や消防、町に連絡します。河北新報槻木販売所の小笠原嘉徳所長は「お年寄りの方が、安心して暮らせる柴田町になるよう協力したい」と話されました。

広 告

広 告



# 2014 町民スポーツ大会 (宮城ヘルシー大会) (柴田町予選会)

問 スポーツ振興室 ☎55-2030

7/6 (日)

## 第42回町民ソフトボール大会

会場：多目的G、柴田球場、阿武隈川G、並松G (参加者 312人)



### A ブロック

優勝：上町  
準優勝：新田  
第3位：大橋インザックス  
ミケ屋敷

### B ブロック

優勝：アルパトロス  
準優勝：12区リバース  
第3位：ブルドッグ  
フィルダース

## 第17回町民ミラウンドゴルフ大会



1位：村上 英夫  
2位：村上 清悦  
3位：日下部妙子  
4位：佐藤 行雄

会場：多目的G、柴田球場 (参加者 154人)

7/17 (木)

## こうほう 文芸

### 短歌

夜空咲く打ち上げ花火自分にもアラフォー彼氏安堵した夏  
船岡 千舞

独居は監視されててご近所のおばさんこわいそつと裏口  
船岡 葦神

炎天下昭和はじめの古き家人住まぬま、凜と佇む  
本船迫 沢田 順子

産院で孫を抱っこにはぶはぶは「よろしくね」つて爺は聞こえた  
本船迫 森田 眞六

### 川柳

電気釜昔懐かし甘酒作り  
船岡 阿部美代子

通ト合う長年夫婦の「それとあれ」  
船岡 伊藤タイ子

最近ほ笑いがないねと笑う妻  
西船迫 安ヶ平良三

亡き友に野の花摘んで墓参り  
西船迫 下浦 智子

この夏はあついあついで日が暮れる  
船岡 加藤 利通

お盆きてお迎へたきびなつかしい  
船岡 つかのき町子

何かが変雷突風ゲリラ豪雨  
西船迫 渡辺 晴奈

素手と素手孫から元氣伝わって  
船岡 菅原 三男

止むを得ず断わり切れず参加する  
船岡 小野寺一彩

祝膳鯛の尻尾がびんと跳ね  
船岡 佐藤 春市

大海を知らぬ金魚が尻尾振る  
船岡 長岡 純子

権力を煮立てた顔で吠える息  
船岡 萩田 昇

生きていたから泣いたり笑ったり  
船岡 早坂 洋子

老人会ゲートボールで生き返り  
四日市場 坂本 一風

おむつして育ちおむつしておわる  
四日市場 齋藤夢太郎

### 俳句

溝蕎麦の間にせ、らく音のせり  
下名生 笠松ふみ子

夢さめて紅色はしける合歡の花  
西船迫 玉手みき子

瀧落ちてしぶきの中に一輪花  
西船迫 安ヶ平奈津枝

松の枝松もて支ふ水の秋  
船岡 永井 亮

向日葵や絵日記の中も子の笑顔  
船岡 大泉かずえ

我が願い星に届けよ夏花火  
船岡 安藤 節子

つきまどう蝶一匹にすべもなし  
大槻 信吉

ふくろふの森の社の夏越かな  
小野 憲彦

おほどかに夏越に託す命かな  
鎌形 清司

神杉の洞朽ちにけり夏越  
船岡 清子

梅雨明けの光をままとひ輪の中に  
鈴木 三山

茅の輪かな体ゆるめて潜り抜く  
鈴木 幸子

山神は、頂に座し青嵐  
相馬カツオ

神杉の大きく動く夏越  
遠藤 玲子

山神の天抜けてゐる夏越かな  
加藤 信子

蟻踏まぬやうに歩いて夏越  
佐藤 瑛子

親も子も八の字描く茅の輪かな  
佐藤 憲一

炭釜の山の匂ひの茅の輪かな  
庄子 紀子

濃翠の茅の輪くぐりて山の風  
鈴木 要一

青嵐七〇〇年の杉太し  
中井 由美子

頭たれ茅の輪くぐりや異教徒も  
芳賀 翅子

広 告

広 告



# 夢空間 2014



切り絵「東京駅」  
佐藤光雄さん  
(西船迫四丁目)



女王の番犬 (ペンネーム)



はなちゃん (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2014)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで9月8日(月)までご応募ください。 ※お名前や作品の読み方を記載してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎ 54-2111

## こども美術館



「歌っている自分」(紙粘土)

船岡小学校6年  
菊地 暖叶さん



「たのしかった うんどうかい」(絵)

船岡小学校1年  
おのの 小野寺 楓さん

広 告

広 告

思いを胸に

『検査精度を高めていきたい～マイクロメートルの世界での品質管理～』

※マイクロメートル：1ミリメートルの1000分の1

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



トナーの成分量を計測している山田さん。

印刷機やコピー機などの製品

本体・基幹部品の製造やトナーなどのサプライ品の供給まで幅広く手がけるリコーインダストリー株式会社東北事業所で働く入社6年目の笑顔が似合う山田祥子さんを紹介します。

山田さんは入社後、静岡県沼津市にある株式会社リコー沼津事業所に異動し約4年間、トナーに関するノウハウを習得しました。去年4月に東北事業所に戻った山田さんは、沼津事業所での経験を生かし、引き続きトナーに関する業務に携わって

います。

環境保全活動に取り組みリコーインダストリー株式会社は、コピー機の省エネにも積極的です。コピー機から発する熱をいかに少なくするかが省エネのポイントで、トナーの材料などが関係します。また、トナーはコピー機毎に異なる材料構成となるため、その機種の特性に合わせる必要があります。

山田さんが所属するグループは、トナーの粒子の大きさや品質、流動性など物性評価を行い、品質の確認と検査精度向上の改善をしています。

リコーインダストリー株式会社東北事業所  
 KP(キーパーツ)事業部 KS生産事業センター  
 KS生産技術室 KS生産技術一G

山田 祥子さん(28)  
 やまだ しょうこ

「うまく測定できない時などの原因追求や検査精度をばらつかせる要因の解明には、とても苦勞します。これから、検査しやすい環境を整え、測定の精度を高めていきたいです」と常に向上心を持ち続

けます。

日々、マイクロメートルという非常に微細な世界で仕事をしている山田さんは、仕事を終えた後、ヨガ教室に通い、身体をリフレッシュさせ、心身ともに疲れを残さないようにしているそうです。

リコーインダストリー株式会社 東北事業所



柴田町中名生神明堂 3-1 TEL 55-3211  
 昭和42年7月東北リコーとして設立。平成24年12月にリコーインダストリーに経営統合。事務機器、光学機器、印刷機器、消耗品などの製造ならびに販売を行っています。省エネ・温暖化防止・省資源・リサイクル活動など積極的に取り組み、地球環境の保全に貢献しています。

人口と世帯数  
 (平成26年8月1日現在)



38,462人  
 (前月比77人減)



19,116人  
 (前月比48人減)



19,346人  
 (前月比29人減)



15,154世帯  
 (前月比45世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。